

事業計画書

7

事業名	「手と手ではなそう」
団体名	NPO 法人 子どもっとまつど

1. 事業目的と課題の現状及びその効果

人と人とのつながりが希薄になっている現在、障害や病気に対する理解も乏しくなっています。子どものころからの様々な人との出会いが、想像力・表現力・豊かなコミュニケーション能力を養います。なかでも文化と芸術の世界は、障害者と健常者の垣根を低くさせる場でもあります。障害者と健常者で取り組む表現者のとの出会いが、人と人が自然に関われる環境をつくり、誰もが生き生きと暮らしてゆける社会につながる第一歩と考えます。

2. 申請理由

病気や障害者になっても、将来を安心して生き生きと暮らしていけるためには、地域とのつながりが一番大切だと思います。そのためには、本事業へのより多くの方々の参加が望まれます。

行政の支援があることで、市民が安心して本事業へ参加し多くの理解者が増えることと考えます。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

今回は、NPO 法人子どもっとまつどが主催団体となり、幼児の親子から小学生を対象に、日本で唯一ろう者(耳が聞こえない人)と聴者(聞こえる人)が協力して公演活動を行っている人形劇団、「デフ・パペットシアター・ひとみ」から講師を招きワークショップと手話講座を市内の市民センターで開催します。

4月 講師打ち合わせ

会場決定

5月 広報開始

7月下旬 ワークショップ「人形劇と手話とコミュニケーション」

～人形劇の表現を使って～

「手と手でお話しよう」「身体ワークショップ」実施

8月 夏休み「手話教室」2回実施

11月 発表会

4. 事業成果の活用と将来展望

今回の事業を契機に、いろいろな表現活動を行っている障害者と子どもたちとの出会いの場を作っていきたいと考えています。継続的に障害者と健常者との交流の場をもうけることで、お互いに理解が深まり障害のあるなしにかかわらず誰もが生き生きと暮らせる社会につながることを思います。

事業の予算計画書

【収入】

	(自己資金)	金額	積算内訳
申請者	参加費	35,000 円	500 円×30 人×1 回 (ワークショップ) 500 円×20 人×2 回 (教室)
	自己資金合計 (a)		35,000 円
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
収入合計 (c) (a+b)		135,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	講師謝金	90,000 円	60,000 円×1 人×1 回 (ワークショップ) 10,000 円×1 人×2 回 (教室) 5,000 円×1 人×2 回 (教室助手)
	広報宣伝費	25,000 円	用紙代 5,000 円 印刷代 5 円×3200 枚 ポスター 80 円×50 枚
	テキスト印刷費	20,000 円	200 円×100 部
	対象となる経費合計額 (d)	135,000 円	
その他	交流会費	円	
		円	
	その他経費合計額 (e)	円	
事業費 (f) (d+e)		135,000 円	